令和８年度　第４回浄水地域会議　会議録

■ **日　時**　令和８年８月５日（水）　午後７時　～　８時

■ **場　所**　浄水交流館　大会議室

■ **出席者**

<委　員>　内迫　貴光　勝野　房則　上島　益美　桑原　正明
権藤　國義　竹中　香織　手塚　俊雄　土田　眞矢
土井　英二　長江　光一　野畑　安浩　森　直哉

<交流館>　土井　由利（浄水交流館　館長）

<事務局>　板倉　壮吾（地域交流課　副主幹）　吉村　直樹（地域交流課　担当長）
渡邊　洋一（地域交流課　主任主査）

■ **議事**

地域と若者をつながりづくりに向けた取組みテーマの整理【意見交換】

① 前回会議の振り返り（資料１）

② 取組みテーマの絞り込み（資料２）

■ **議事の概要**

ワークを行いながら若者・地域双方にとってつながりやすいテーマの絞り込みを行った結果、「マルシェ・お祭り」、「二十歳のつどい」が有力テーマとして挙げられた。次回は、両テーマにおける、つながりの促進に向けた具体的なしかけ、仕組みを検討していく。

■ **主な意見**

テーマ	取組の優先度	意見
二十歳のつどい	○	・若者、地域双方にとって節目として定着した行事であり、地域への愛着や関わりを生み出すきっかけになるとの意見が多かった。 ・参加対象者（二十歳）だけではなく、来年度の対象者や OB、在校生等関わりを同世代のみに留めない工夫が必要ではという意見があった。
地域部活動	△	・若者にとっては身近なテーマであり、参加しやすいとの意見があった。 ・地域側から見ると、一緒に楽しむならよいが、指導者として関わるには専門性や自信が必要であり、参加のハードルもあるのではという意見があった。
マルシェ祭り	○	・若者・地域双方にとって参画のハードルが低く、多世代交流の場になりやすいとの意見が多かった。 ・夏祭りでのダンスや太鼓を通じて若者が帰省時に参加している例もあり、取組みやすさもあるという意見があった。
ボランティア	▲	・地域側の必要性は高いが、若者参加はハードルが高いとの意見が多かった。 ・祭り等への参加を通じて関係性を築いた先にボランティア参加があるのではないかという意見があった。

第５回浄水地域会議は中止。

第６回は令和８年１０月１４日（水）午後７時～　浄水交流館 大会議室にて開催予定。